



横浜銀行 ニューヨーク駐在員事務所

週間トピックス Vol. 514 (2020. 8. 14)

<今週のトピックス>

日帰りで東京ーサンフランシスコ

超音速旅客機コンコルド (Concorde) が、地上から姿を消したのは (退役したのは)、2003年10月のこと。それから17年ほどたった今、コンコルド以来の超音速旅客機の開発計画が着々と進んでいます。

超音速旅客機を開発している会社は、沢山存在していますが、そのなかでも最も実現可能性が高いのが、Boom Technology 社 (ブーム・テクノロジー、以下 Boom)。



Boom は、2014年に、Blake Scholl (ブレイク・ショル) によって、設立されたアメリカ合衆国コロラド州デンバーに本拠があるスタートアップ企業です。業歴がある大手企業ではなく、スタートアップ企業が開発しているのが、アメリカらしいです。もちろん、バックには Y Combinator のような著名ベンチャー・キャピタルが付いています。

創業者で CEO である Blake 氏へのインタビュー記事での、興味深いコメントを紹介します。

質問者 「マッハ2で飛行する旅客機を開発する計画はどういう経緯で出てきたのか」

Blake 「Groupon を去ったとき、自動車レンタルからヘルスケアまであらゆるスタートアップのアイデアがあった。しかし、昔から情熱を持っていたのは、飛行機だった。最初に調べたのは、なぜまだ実現していないのか? ということ。コンコルドは、50年前も昔に、設計された。テクノロジーが圧倒的に進歩を遂げている今、なぜそれができないのか。最大のハードルは、燃料コストであった。50年前の燃料消費率を30%改善すれば、経済的に成立することが分かった。その程度の改良なら不可能とは思えない。そして、Boom を起業することに決めた」

※Blake 氏は、元々 Amazon で、その後、Kim Labs を共同創業。同社は Groupon に買収。航空産業のバックグラウンドはないが、開発メンバーには、Boeing や SpaceX の元エンジニアが名を連ねている

Boom は、2020 年 10 月 7 日に、技術実証機「XB-1」をロールアウト（完成披露）する予定です。新型コロナウイルスの影響で、イベントはオンラインで開催されるようです。そして、2021 年の初飛行を目指すようです（実用化は、2025 年頃）。

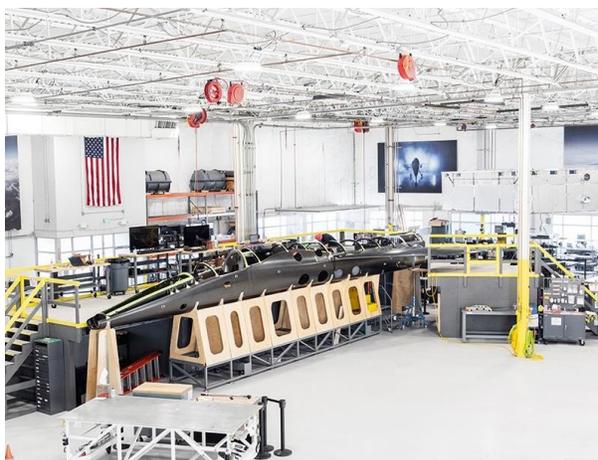
Boom の超音速航空機「Overture（オーバーチュア）」の価格は、2 億ドルに上ります。すでに、英国ヴァージン・グループや日本の JAL から、仮受注を受けています。

コンコルドのスピードは、マッハ 2.0 でしたが、オーバーチュアのマッハ 2.2（時速 2335km）はそれを上回ります。一般の民間旅客機のスピードは、マッハ 0.85（時速 900km 程度）ですので、約 2.6 倍の速さになります。



オーバーチュアの航路は、ロンドン⇄ニューヨーク、上海⇄シアトルなど海洋ルートが考えられていますが、実飛行が実現すれば、日帰り、サンフランシスコ⇄東京へ行くことも夢ではなくなります。朝、サンフランシスコを出発し、東京でお寿司を食べたあと、ミーティングを行い、夜には家（サンフランシスコ）へ帰ってこれる。

新型コロナウイルスの感染拡大等の影響で航空業界全体が落ち込むなか、10 月のロールアウト・イベントの成功が明るい材料になることを期待しています。



（出所：Boom Technology, CNN, Tech Crunch）

- ・本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・ご利用に関しては、すべてお客さまご自身でご判断くださいますよう、よろしくお申しあげます。
- ・本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
- ・本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。
- ・本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。